

PCR検査・抗原定性検査に関するQ&A(選手団関係)

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会栃木県実行委員会

No.	分類	質問	回答
1	PCR	PCR検査の対象者の考え方は。	国体に参加する選手の安全確保が目的であることから、選手と行動を共にする選手団のほか、選手との近接や会話が想定される競技会運営関係者(競技役員、競技補助員)、報道員などを対象としています。
2	PCR	会期前競技と本会期両方に参加する場合、PCR検査は両方必要か。	会期前競技、本会期とそれぞれに検査を受ける必要があります。
3	PCR	事前合宿で来県し、各自手配した宿泊施設に滞在する場合の大会参加日の考え方は。	事前合宿は大会参加初日には当たりません。宿泊輸送センターがあつせんした宿泊施設に入る日が大会参加日となります。
4	PCR	選手との接触がない帯同者や観覧する家族もPCR検査の対象となるのか。	自県選手団への帯同がなく、また競技会場においても競技エリアには入らない(観覧者と同じ条件)参加者については、PCR検査は不要です。ただし、感染防止対策のため競技会場での観覧に制限がある場合もありますのでご注意ください。
5	PCR	PCR検査を受ける者は全て対象者一覧表(様式1)で報告する必要があるのか。	参加条件に基づきPCR検査が必要となる対象者について報告してください。対象ではないが自主的に検査を受けるような場合は報告不要です。
6	PCR	様式1で報告した者に追加等がある場合はどうしたら良いか。	追加等がある場合には随時、栃木県実行委員会に変更内容を報告してください。
7	PCR	参加日までに検査結果が判明しない場合に、どのようにすれば良いか。	結果判明までの時間的余裕を確保するため、参加日120時間前の検体採取としていますので、参加日までに検査結果が出るよう検査を受けてください。陰性の結果が確認できない場合は参加できません。
8	PCR	PCR検査の結果証明を事前に提出する必要があるのか。	検査結果については来場日ごとにPCR検査結果報告書(様式2)により県実行委員会に報告願います。報告にあたり検査結果の添付は必要ありませんが、各県選手団の責任において検査結果の把握・確認をお願いします。
9	PCR	様式2は都道府県体育・スポーツ協会又は競技団体が参加日ごとに提出するとあるが、競技団体が提出する場合の団体名はどのようにしたら良いか。	様式上、〇〇都道府県体育・スポーツ協会となっていますが、競技団体の名称に変更してください。確認者は、検査結果を確認された監督やコーチ、競技団体担当者を記載して報告してください。
10	PCR	競技会場でPCR検査結果を証明するものの提示は求められるのか。	健康管理アプリ「GLOBAL SAFETY」への陰性結果の登録は必要ですが、陰性を証明する書類等の提示は不要です。ただし、内容確認を行う場合もありますので、参加中に検査結果通知等の提示を求められた場合は対応できるように携行してください。
11	PCR	PCR検査で陽性が判明した場合に報告は必要か。	参加者留意事項2(1)のとおり、参加日10日前以降に陽性が判明した場合は「感染症発症状況等報告書」を競技会主催の市町実行委員会・競技団体に提出してください。
12	PCR	1ヶ月以内に新型コロナウイルス感染症の既往歴があり、療養解除後の事前PCR検査で陽性となった場合は参加できないか。	参加条件2(3)のとおり、事前PCR検査で陰性を示す結果が確認できなかった場合は参加不可となります。ただし、新型コロナウイルス感染歴による陽性反応で、感染性はないという医師の診断書があれば陰性証明に変わることができます。
13	PCR	事前にPCR検査を受けて参加した後、一旦帰県して再度参加する場合にはもう一度PCR検査を受けなければならないか。	PCR検査対象者の参加区分で、帰県後2日以上空けて再度参加する場合は、抗原定性検査により陰性を確認してからご参加ください。

No.	分類	質問	回答
14	抗原	抗原定性検査の趣旨は、参加期間中、毎日実施するののか。	PCR検査の検体採取を大会参加日前120時間以内としたことから、検体採取から参加日までの感染リスク期間が延びたため実施するものです。期間中の感染の有無を確認するために、毎日実施するものではありません。
15	抗原	競技会場内で選手との接触がない帯同者も抗原定性検査の対象となるののか。	競技会場内で選手との接触がなく、競技エリアには入らない(観覧者と同じ条件)参加者については、PCR検査同様に抗原定性検査は不要です。
16	抗原	抗原定性検査を行っていない場合には、競技会への参加は認められないののか。	参加条件1(3)のとおり、参加日以降に抗原定性検査を行うことが必要となります。 なお、2回目の抗原定性検査については厳密には参加条件ではありませんが、選手の安全確保のため実施をお願いします。
17	抗原	抗原定性検査は全員2回受けなければならないののか。	2回目の抗原定性検査の対象者は、選手・監督、競技エリアで直接的な指導等を行う帯同者(ID付与者)となります。マスクを外して競技を行うなど感染リスクやクラスター発生防止を目的として行うものです。PCR検査の対象であり、かつ3日以上以上の滞在がある場合に実施願います。
18	抗原	抗原定性検査の1回目はいつどこで行えば良いののか。	検査概要4(2)のとおり、参加日当日の来場・出発前に自宅等で検査を行ってください。
19	抗原	抗原定性検査の2回目はいつどこで行えば良いののか。	2回目は参加日の翌々日(参加3日目)に自宅・宿舎で検査を行ってください。
20	抗原	抗原定性検査キットはいつ頃どのように配付されるののか。	会期前競技と本会期での使用量を見込んで、8月19日付けで各都道府県体育・スポーツ協会に宛てに720キットを発送しました。 選手団総数からは不足が見込まれるため、国体参加申込システム締切後の9月中旬頃に追加送付を予定しています。
21	抗原	抗原定性検査キットの配布数量はどの程度か。	国体参加申込システムで登録された選手団総数(選手、監督、本部役員)を基本とし、帯同者や予備分として選手団総数の2割程度上乗せし、2回相当分を用意させていただく予定です。
22	抗原	予備登録選手や登録外の帯同者には抗原定性検査キットは配付されないののか。	エントリー変更や競技エリアに入るコーチ等を想定し、上記のとおり一定数の予備を含めて配布いたします。大量の検査キット確保が困難な状況のため、予備登録選手や帯同者全てに検査キット配布が難しいことを御理解いただき、不足する場合には各自で手配をお願いいたします。
23	抗原	検査結果が判定不能となった場合はどうしたら良いののか。	予備として配布した検査キットを用いて、再検査してください。
24	抗原	ブロック大会で購入した抗原定性検査キット(医療用)の残りがあがるが、配布された検査キットと合わせて使用しても良いののか。	厚生労働省の薬事承認を受けた検査キットであれば、同様にご使用いただいても結構です。
25	抗原	総合閉会式参加に当たり抗原定性検査が必要になるののか。その分の抗原定性検査キットは、上記の配布数量に含まれるののか。	PCR検査対象者で総合閉会式や競技会に参加した後、総合閉会式に参加する場合には、総合閉会式当日の来場前に、自宅・宿舎等で実施する必要があります。 なお、総合閉会式参加に当たる分の抗原定性検査キットは上記とは別にご用意いたします。
26	抗原	抗原定性検査の結果はどのように保管、管理すれば良いののか。また報告は必要か。	検査結果は検査キットと身分証明書等を組み合わせて写真撮影し、健康管理アプリ「GLOBAL SAFETY」に記録すること。なお、検査結果は各選手団において管理・把握をしてください。陽性となった場合を除き、検査結果の報告は必要ありません。